

萌

宮崎中学校区地域教育会議 だより

MOE

第3号

平成14年1月18日(金)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 持田 正美

編集 広報委員会

すてきな街がいっぱい ポスター展開催

平和な街、緑いっぱいの街、
お年寄りを大切に作る街…。子
ども達が描いた『私たちの街、
すてきな街』は、どれも色彩豊
かな理想の街ばかり。子ども達
が夢を持てるこんな街を作っ
ていくのは、大人の私達の責任で
はないでしょうか。

ポスターが展示されたのは宮
前区役所と川崎駅アゼリア。ア
ゼリアでは通行中の人達が足を
止め、熱心に見入る姿が見られました。

作文の部では、西梶ヶ谷小学校の水口健太君の作品が
「市P協だより 12月号」に掲載されましたので、ぜひご覧
ください。

地域教育会議のバザーの収益金から、作品をお寄せいた
だいた方全員にお礼の品を差し上げるようになりました。



優秀作品

【ポスターの部】

- 持田 達也(一般)
- 村澤 晴海(宮崎中1年)
- 柿本 美貴(宮崎中1年)
- 日比野 祐介(宮崎中2年)
- 清水 七穂(宮崎小6年)
- 渡瀬 晃成(宮崎小6年)
- 相島 麻由佳(宮崎小6年)
- 葛岡 大(宮崎小6年)
- 加藤 恵(宮崎小5年)
- 下田 崇仁(宮崎小1年)
- 小池 夏姫(西梶ヶ谷小6年)
- 古谷 優那(西梶ヶ谷小3年)



宮中フリマに お汁粉屋登場!

宮中フリマは晴天に恵まれ、朝から人出も順
調。所狭しと並んだお店の間からは、呼び込み
の声や値段交渉の声が飛び交い、寒さを吹き飛
ばすほどの活気でした。

模擬店の周辺では、財布の中を覗きながら次
は何を食べようかと飛び回る子ども達、部活後
にジャージ姿で「腹減ったあ」と現れる中学生
達。久々に会った知り合いの子の成長ぶりに驚
いたり、変わらぬ雰囲気にもホッとしたりも、楽
しみの一つです。

このようなイベントは、地域の人たちの交流
の場でもあり、地域の中で子どもを育てていく

運動会やバザーなど、秋は各地でイベントが目白押し。そ
んな中、宮中学校区でも大塚町内会スポーツフェスティバ
ル(11/4)、宮崎中学校フリーマーケット(11/18)が開催さ
れ、地域教育会議も出店に大忙しでした。

上ですますます重要になることでしょう。

さて、この秋開店した地域教育会議のフルー
ツポンチ屋さんに、宮中フリマでは愛情テイ
ストのお汁粉も登場。肌寒い秋晴れの下で、ひと
時の暖を取ってくださったお客様、ご来店あり
がとうございました!

議長がラジオ番組に出演!

宮崎中学校区地域教育会議・議長の持田正美氏が、
1月8日放送のFM川崎「クローズアップ川崎」に出
演。地域教育会議の活動などについて話をしました。

祝

平成13年12月1日 宮崎中学校新校舎落成式

待望の新校舎が完成し、宮中生徒たちが胸躍らせてプレハブ校舎から引っ越したのが昨年3月。同10月には校庭改修工事も終わり、12月1日、宮崎中学校の新校舎落成記念式典が行われました。

○生徒達が輝いた記念式典

式典には150名もの来賓の方々が列席され、生徒達とともに校舎の完成をお祝いしました。

「子どもの目線で」という校舎落成記念事業委員会(実行委員会)の提案で、式典は司会も生徒が行い、呼びかけや生徒発表など、子どもを中心に据えた構成が来賓の方々の感動を誘いました。

放送委員会が製作したビデオ「新たなる50年に向かって」の上映、練習を重ねたドイツ語による「タンホイザー行進曲」など3曲の合唱と、生徒発表も大成功！ピッカピカの新校舎に負けないくらいに、生徒たちも輝いた落成記念式典になりました。



感動の記念式典

○イメージアップした新校舎

皆さんはもう新校舎をご覧になりましたか？

新校舎はモダンな外観もさることながら、ゆったりした空間と、たくさんの窓、明るい雰囲気の特徴です。校舎内覧会を終えた来賓の方々からも「学校じゃないみたい」「学校のイメージと違う」など、驚きの声があがったほど、従来の学校のイメージとずいぶん違います。また校庭も塀をなくし、防球ネットが張られているだけで、とても広くなった感じです。

引越から10ヶ月たった今でも落書きや汚れはなく、生徒達が大切に使っている様子もうかがえます。

これからは公開授業や懇談会も楽しみですね。



ゆったりした多目的スペース(二階)

地域に開かれた宮崎中学校をめざして

新校舎の玄関脇に「特別活動室」ができたのをご存知でしょうか？この特別活動室は、学校開放の一環として、地域の方にも利用していただくという目的もあるようです。学校の玄関とは別の出入り口があり、その結果利用しやすくなって、夜の会議にも利用できるようです。

すでにお年寄りのためのボランティアサークルやたくさんの団体が活動や会議などに利用しています。もちろん学校の行事が優先されますが、空いている時間帯ならいつでも申し込みできます。利用したい方は宮崎中学校までご相談ください。

さて、その特別活動室の外側、これまで暗くて無用心だった学校脇の道路添いに、遊歩道ができました。ベンチも設置され、ちょっとした

散歩コースです。時おり小さなお子さんを遊ばせたり、犬の散歩などをしている光景もみかけます。扉は開いているのでいつでもご利用ください。そして子ども達を見かけたら、ぜひ声をかけてあげてください。



特別活動室は誰でも利用できます

私達にできることはなんだろう

連日のように痛ましい児童虐待の事件が報道されています。児童虐待は、今や深刻な社会問題です。けれども子育てをしている私達にとって他人事と済まされない、あまりにも身近な問題です。児童虐待をなくすために、私たちができることはないのでしょうか。地域教育会議では川崎市中央児童相談所に取材しました。

虐待とは？

虐待には4つのタイプがあります。

①身体的虐待

殴ったり蹴ったり、投げ落とししたり、タバコを押し付けるなどの暴力行為をすること。

②ネグレクト(不適切な養育・保護の怠慢・放置)

遺棄、極端な不潔、家に閉じ込める、学校へ行かせない、病院へ連れて行かないなど。自動車の中に長時間放置するのもこれに当たる。

③性的虐待

実の親などの養育者が子どもに性的行為を強要したり、性交をすること。

④心理的虐待

子どもに対して拒否的な態度を取ったり、傷つくようなことを繰り返し言ったり、兄弟間で著しい差別的な扱いをする。

虐待の実態は…

児童相談所に寄せられる児童虐待の相談や通告は年々増加しています。

平成10年131件、平成11年170件、平成12年364件、そして平成13年は400件を超える予想です。中でも身体的虐待は急増しています。

虐待しているのは9割以上が実の親、そして虐待される側の5割以上は就学前の子どもです。

私達にもできることがあります

●通報・通告をする

虐待されているのではないかとと思われる児童を見かけたら、すぐに連絡してください。

●継続的に見守る

上記の児童の様子を見守り、変化などに注意してください。

連絡先

川崎市中央児童相談所 (877) 8111

川崎市児童虐待防止センター (738) 0905

※児童相談所などには通告者が特定できないように守秘義務があります。また、誤通告は罰せられることはありません。安心して連絡してください。

また地域の民生委員、警察などでも通報を受け付けています。

今一番求められているのは里親です

里親制度を知ってますか？

いろいろな事情で親が育てられない子どもに、生まれ育った家庭に代わる安定した生活の場を提供し、より深い愛情と理解で養育する家庭を「里親」と言います。登録制で一定の調査があり、必要経費は支払われます。期間も長期から短期までさまざまです。

虐待などを受けた子どもは、場合によっては児童養護施設や児童相談所の一時保護所で生活しますが、虐待が増加する中で、これらの施設は常時定員を越えているのが現状です。このような状況で、今もっとも必要とされているのが「里親」です。里親に関心のある方は、ぜひ児童相談所に連絡してください。

地域社会で子育てを！

取材ではいくつかの虐待の事例をお聞きしましたが、そのどれもがあまりに悲惨で、胸が押しつぶされそうになりました。

なぜ虐待は起こるのでしょうか？ 原因はさまざまですが、その一つに人間関係が希薄になり、子育てを行う親が孤立するという社会背景があります。虐待している親を非難するのは簡単です。けれども、虐待している親自身も悩み苦しみ、援助を求めているのではないのでしょうか。

親・学校・地域が支えあい、多くの人達の手で子どもを育てていくことは、虐待をなくすためにも必要なことです。地域教育会議では、親が孤立しないような地域社会を作るために、今後も積極的な活動を続けていきたいと思っています。



生涯学習会第2弾 お父さん、出番ですよ！

11月17日(土)、宮崎中学校の特別活動室で今年度第2回目の生涯学習会が行われました。今回のテーマは「お父さんの子育て」。講師に前青少年の家所長の松村健氏を招き、ユニークな子育て論を語っていただきました。

講師の松村氏は1男2女のお父さん。結婚前から市の職員として家庭教育学級に関わっていたことから、子育てに父親参加の必要性を感じ、自らも積極的に関わってきたそうです。

そんな松村氏がこれまでに一番困ったことは、奥さんの病気。まだお子さんが小さい時のことでした。けれども、その奮闘のおかげで父親としての関わりはさらにパワーアップ。

「母親は病気をしなさい！」(松村語録より)

また、学校や地域の行事に関わる時は「母親が出番を作ってあげることも大切」と松村氏は言います。きっかけさえあれば、お父さんは子育てや地域行事に参加しやすくなるのです。

「父親は絶対母親には勝てない！」(松村語録より)

お父さんの出番には、お母さんの演出が必要なんですね。

学習会の後半は、松村氏の講演を受けて座談

会を行いました。参加者からは「物の豊かさが歪みを生んだ。それを作ったのは大人社会だ」「親も教員も変わっていかなければいけない」など、痛烈な発言がたくさん飛び出しました。



《生涯学習会今後の予定》

●第3回「三つ子の魂」

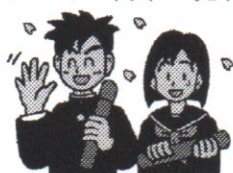
平成14年2月2日(土) 2:00 梶ヶ谷小学校

講師：松島叔子先生(付属梶ヶ谷幼稚園・教頭)

INFORMATION

●卒業式日程●

- 3月8日(金) 宮崎中学校
- 3月18日(月) 宮崎小学校
- 3月20日(水) 梶ヶ谷・西梶ヶ谷小学校



**ご卒業
おめでとう
ございます！**

●地域教育委員会からお知らせ●

2月16日(土) 宮崎中特別活動室で、「子ども会議」を開催します。今回は、宮崎中1、2年生徒の代表が座談会を行います。

●青少年の家からお知らせ●

3月10日(日) 青少年の家フェスティバル

住民委員を募集します

宮崎中学校区地域教育会議では、平成14・15年度の住民委員を募集します。地域に根ざした活動をしていただくために、住民の方々の積極的な参加をお願いします。

募集の詳細は次号の「萌」をご覧ください。

事務局：宮崎中学校・芹澤

電話番号：866-3372



ご意見・ご感想はこちらへ！

ファクス：044-854-5748

eメール：nmiya@vy.catv.ne.jp



いよいよ萌えてきた「萌」第3号をお届けします。すてきな街ポスター展には多くの秀作が寄せられ、感謝しています。12月1日には地域住民待望の宮崎中新校舎落成式が行なわれ、50有余年の伝統ある地域に輝きと誇りを与えました。地域の特性ある明るいニュースは嬉しく住民をより一体化させます。去年は悲惨な事件が多発した1年でした。より良い方向へ推移するのが人間社会。人が社会を支えるように、心が人を支えていることを忘れてはならないと感じます。(T.O.)